



ききょう便り

平成23年 春号（第25号）



沼田公園の桜

もみじと野鳥

理事 角田和子

3月11日の東日本大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げ、亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げます。

私の住んでいる下野知町は、戸神山（通称三角山）の東側のふもとです。山に近いため庭に野鳥が飛んで来ます。7本立ちのもみじの木が大きくなるにしたがって飛来する鳥が多くなりました。

春には、スズメ・ヒヨドリ・シジュウカラ・ウグイス等が見られます。春から夏にかけて数年前にはヒヨドリが巣をつくり、昨年はおもみじの木に巣箱を取り付けたら、なんとシジュウカラが巣箱でひなを育て初夏に巣立っていきました。

夏は緑の葉でおおわれるので「スズメのお宿」になり、夕方になると100羽位集まり、一時賑やかに鳴いて木に止まり眠っていました。朝は明るくなるとさえずりながら飛び立っていきました。スズメのさえずりで目覚めます。

鳥たちを見たりさえずりを聞いたりしていると心がほっとして癒されます。自然の営みの素晴らしさに感謝しています。

しかし、自然の力は計り知れず、災害の時は恐ろしく不安になります。なにげない平凡な日々が一番幸せだとつくづく思いました。

桔梗会は「利用者の幸せ」を各事業所の共通目標に掲げています。利用者の皆様が幸せになれば、その家族も安心して幸せになり、介護にかかわっている職員の皆様のところにも幸せの輪が広がっていくと信じています。

地域から信頼される施設のために、日々努力している職員の皆様に感謝いたします。



社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう
ききょうデイサービスセンター岡谷
ききょうヘルパーステーション

〒 378-0002

群馬県沼田市横塚町 957 番地 2

TEL 0278 - 23 - 8831

FAX 0278 - 23 - 8832

〒 378-0061

群馬県沼田市岡谷町 687 番地

TEL 0278 - 23 - 8861

FAX 0278 - 23 - 8852

発行責任者 諏訪 光生

“友達作り、おやつ作り、思い出作り”

～ききょうデイサービスセンター岡谷での取り組み～

※今年度のききょう便りでは、各部署の取り組みをご紹介します。



畑で収穫！取りたて甘いトウモロコシ



絹さやの筋取り



手作り柏餅



草餅作りの様子

利用者様の生活機能維持向上のため、いろいろな作業をとおして季節を感じていただけるよう心掛けました。
おもに旬の野菜を収穫して食べたり、農作業や昔ながらのおやつ(食事)作り、また、地域の伝統行事の実施などです。



デイ岡谷の庭には畑も田んぼもありますが、その他に職員の畑を借りて小豆を栽培しました。
悪い豆の選別作業は利用者様にとって冬期の良い作業になり、採れた小豆は美味しいお汁粉やあんびん餅になりました。

小豆のさや剥き、全て手作業です



小正月の繭玉飾り

利用者様が快適にサービスを利用し、自宅でも心身共に落ち着いて過ごせるよう、その時々での精神状態や症状に応じて、別室での個別対応などキメの細かい介護を心掛けています。



自然と友達や仲間ができ、一緒に笑い、一緒に感動しました。



ベランダで流しそうめん ※左の写真は個別対応



利用者様と沢山の楽しい思い出が出来ました。今年も楽しみです。



今年度は、新たな取り組みとして、利用者様にいろいろな作業を担当制にして役割を持ってもらうことで、やりがいや張り合いにつなげていきたいです。

(ききょうデイサービスセンター岡谷 高橋)

フォトアルバム(行事紹介)



沼田市の慶祝訪問
最高齢は102才の利用者様です。

沼田公園へお花見に出掛けました。お天気に恵まれ桜の木の下で春を満喫してきました。



直美会様



一年間の思い出をひとつにまとめた「思い出アルバム」を手に、ご夫婦仲良く記念撮影です。



慰問・ボランティア

銭太鼓寿会様

アイリス
ハーモニカクラブ様



ニコラス様ご夫妻
素晴らしいバイオリンの音色に思わず聞き入ってしまいました。



一針ひとりは心を込めて、皆で大作のヨーヨータペストリーづくりに取り組んでいます。仕上がりが今から楽しみです。

この4月から“支援センターききょう”に配属になりました、尾崎好宏と申します。よろしくお願いいたします。



私にとって今度の仕事は、初めての外の世界。しかも、対象となる方々は、それぞれの独立した暮らしがあり、楽しみや喜び、悩みや問題を抱え生活しておられます。それは、私が送っている普段の生活と何ら変わらない風景。そこへ大先輩である皆様に、「何かお困りな事や相談事はありますか？」等と、若輩者がとてもおこがましい事を聞いて歩いてやしないか。不束な無礼者なのではないか。と思ってしまうたりします。



しかし、出会った皆様に「話を聞いてくれてありがとう、また来てね。」と帰りがけに声をかけていただくと、とても嬉しくなり「ガンバロウ！もっと勉強して一日も早く、皆さんのお役に立てる様になりたい。」と、不思議にやる気と勇気が湧いてきます。支える仕事のはずが、支えられている？などと感じています。

一日も早く知識や技術を身に付け、地域福祉の一翼を担える様な存在になりたいと思います。その日まで、どうか温かい目で見守り、叱咤激励をよろしくお願いいたします。

沼田市在宅介護支援センターききょう

23-8816 (尾崎)

ユニット型施設を増床して5年が経ちました。ユニットケアが目指す方向というのは「利用者様一人ひとりの好みや生活習慣を尊重し、今までの暮らしが継続できるようにケアすること」です。

毎年、桔梗会の理念・目的を軸にして各グループごとに目標を立てて、毎日24時間暮らしのサポートに頑張っています。

入居されて間もない利用者様とのコミュニケーションは、なかなか上手いかないこともあります。時間とともに信頼関係を築くことができ、家族のような関係性ができてきます。会話のなかでも家族で話しているような感じの雰囲気のあるときもあり、このような時は家にいるような感覚になっているのかなと感じます。

4月はお花見に出掛けましたが、気温が低く、車窓から眺めるだけになってしまいました。が、「きれいだねえ、春はやっぱりいいよね。」と話されたり、施設の中での笑顔とは違う表情を見ることができ、とても嬉しく思います。

これからも利用者様のご希望に応えられるケアを心掛け、ご家族のような関わり方ができるようにしていき、施設であっても普通の家のような暮らしを実現できるように努めていきたいです。(ユニット型 藤井)



職員紹介

この職に就いて

サクラが満開になり、新しい季節が始まりました。でも今年のサクラはいつもとは違い、人それぞれが複雑な思いで眺めているのではないのでしょうか。

3月11日の東日本大震災で、多くの人々が亡くなり被災されました。

地震が起きた時、私は入浴介助中でしたが、大きな揺れにとっても恐怖を感じました。もしもあの時、ききょうの里でも災害が起きていたとしたら、私は介護職員としてどのような対応が出来たでしょうか。現地では震災後も避難所や介護施設で自らも被災者でありながら、介護職員として利用者様の介護を続けられている方々がいますが、本当に大変な事だと思います。

私はききょうの里で働いて7年目になりますが、今回の震災で改めて私達は利用者様の生命をお預かりしているのだと感じました。



これからも介護職員として働いていく中で、今まで経験したことのない、いろいろな問題に直面することもあると思いますが、利用者様の「生命」の重さをしっかりと受け止め、毎日笑顔で過ごしていただけるよう、この介護の仕事に誇りと生きがいを感じながら、一日いちにち利用者様と関わっていきたいと思います。



介護職員
下河 幸子

ケアマネ

一口メモ

「か・な・し」

赤ちゃんが火のついたように泣く。顔は真っ赤。熱もあるような気がする。「どこが痛いのか、苦しいのか言ってよ！」



親は自分の身に代えても赤ちゃんを助けたい。助けようとしても助けられない。

「しようとしても、しかねる」ときに感じる感情を「悲しい」というのだそうです。「しKANEる」から「KANASHI」に音韻変換して派生した語だと言われています。「見るに見かねて」「忘れかね」（大野晋著「日本語の年輪」より）

東日本大震災の惨状を目の当たりにし言葉を失い、こらえられない感情を経験しています。我々の先輩方はあまたの天災、戦争や事故を経験し、こうした深い悲しみを抱えて生きてこられました。

介護の現場では、もっと沢山してあげたくても、満足のいくお手伝いができないことも多いです。だからこそ、できることをできるだけする。今、ここで、一人ひとりの話を聞く、身体を拭く、食事を用意する。その行為、想いが被災地にもラバウルの島にもつながっている。…ちなみに古語では「愛(かな)しむ」と書くときがあります。悲しみを突き抜けた向こうにある…慈悲、慈愛。

寄り添う介護、向き合う介護とはそういうことだと思います。（居宅介護支援事業所 大平）

☆☆今後の予定☆☆

☆ききょうデイサービスセンター

5月 花見・水紀行館（中旬）

6月 誕生会（中旬）
外食会（下旬）

7月 映画鑑賞会（月上旬）
衣類販売（中旬）

☆ききょうの里(従来型) ☆ユニット型

5月 母の日(8日)
新緑狩りドライブ(下旬)

6月 父の日(19日)

7月 七夕(月上旬)

☆ききょうデイサービスセンター岡谷

5月 沼田公園ツツジ見学（月上旬）
ハーモニカミニコンサート(26日)

6月 屋内運動会(中旬)

7月 流しそうめん(下旬)



◇◇編集後記◇◇

新年度がスタートし、あっという間にひと月が過ぎ、風薫る5月になりました。

春の訪れとともに、例年より多く飛散している花粉に悩まされている方も多いのではないのでしょうか。

先日テレビで「沖縄への花粉回避ツアー」が紹介されていました。スギやヒノキの植林が少ない沖縄では、花粉症にほとんどかからないそうで、花粉症の症状も緩和されるそうです。何ともうらやましい話ですね。

過ごしやすいこの時季、一日も早くマスク無しでスッキリと生活できるようになりたいものです。（総務 中山）